



# 成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2016～17年度会長 ジョン F. ジャーム

## 第2712回例会 平成28年7月22日(金)

- ◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 堀口 路加 会員
- ◇ ニコニコボックス



**喜久川 登 会員**：2件ニコニコいたします。後程、私の小学校からの同級生である宮崎君の入会式があります。皆さん、よろしくお願い致します。次に、旅行仲間に誘われ10年ぶりにアンゴラへ行って参ります。二週連続で休むこととなります。アンゴラは物価が高く危険な国ではありますが、今からワクワクしています。以前行った時には、これで死ぬのじゃないかというような思いもしましたが、世界で4番目くらいの有名な滝があるそうです。

### ◇ 会長挨拶 石川 憲弘 会長

皆さん、こんにちは。去る7月19日に帝国ホテルにて行われました「東京中央新ロータリークラブ15周年記念式典」にご招待を受け、吉田幹事と共に行ってまいりました。

「東京中央新ロータリークラブ」は現在会員数49名中、男性会員11名、女性会員38名、年会費35万円だそうです。女性中心のクラブだけに華やかなものでした。

アトラクションには、懐かしい「サーカス」の歌がございまして、そのメンバーもつい先ごろ還暦をむかえたそうです。お客様の中には元日本銀行総裁福井様の顔もみえました。福井様は「東京中央ロータリークラブ」に所属されているそうです。また、成田ゆめ牧場社長秋葉良子様は、今年度「東京中央新ロータリークラブ」の会長エレクトとして活躍されております。

また、彼女の昔からの友人である箱根ロータリークラブ今年度会長の田代京子様をご紹介いただき、成田ロータリークラブが8月26日に開催予定の月見例会に参加を希望されていました。

余談ではありますが、今回の式典にて祝辞を述べられた方は（名前は差し控えますが）『あの方、年収100億円なのよ』と隣にいた秋葉様が教えてくれました。「東京中央新ロータリークラブ」の野呂会長は画廊を運営されているそうですが、銀座には400軒もの画廊があるそうです。改めて「東京」の凄さと華やかさを感じました。

そして昨日、印西ロータリークラブ主催の会長・幹事会におきまして成田コスモポリタンロータリークラブより地区大会へのご協力と言うことで書面を渡されました。それにより



ますと、地区大会当日、成田クラブからは20名の応援スタッフが要請され地区ゴルフ大会は別に2名の要請です。プログラムについてはまだ(案)の段階だそうです。吉田幹事から詳しいことは幹事報告にて説明があると思いますが、後日成田コスモポリタンロータリークラブよりスタッフ要請のお願いに見えるそうです。地区大会応援については回覧中です。本日は入会式そしてクラブ協議会ですのでこれで会長挨拶とします。

#### ◇ 表彰

米山記念奨学

米山功労賞第10回 石川憲弘会長



#### ◇ 入会式

宮崎 修一 (みやざき しゅういち) 会員 宮崎畜産株式会社

推薦人 喜久川 登 会員、石川 憲弘 会員

顧問 遠藤 英一 会員

所属委員会 会員増強・退会防止委員会

増強・選考・職業分類

奉仕プロジェクト委員会

職業奉仕

職業分類 畜産



この度、石川会長、喜久川さんの推薦により、会員の一員として認めていただきありがとうございます。私もまだ第一線で仕事をしておりますので、あまり出席できないかもしれませんが、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

経歴ですが、昭和25年三里塚生まれ、昭和43年3月高校卒業、4月川崎市消防局に入社、臨港消防署に配属され、レスキュー第6期。昭和48年退職、現在の宮崎畜産に入社し、平成12年宮崎畜産の代表取締役役に就任いたしました。長男、長女、次男がおります。現在、次男が後継者として頑張っています。よろしくお願いいたします。

## クラブ協議会

司会進行 吉田 稔 幹事

議長 石川 憲弘 会長

先ほど役員・理事会におきまして国際ロータリー2790地区2018-19年度ガバナー候補に諸岡靖彦会員を推薦することが承認されました。諸岡会員のロータリー歴は、

2005年 成田クラブ入会 2008-09年クラブ幹事

2010-11年度クラブ会長

地区においては

2014-15年度地区RLI委員 2015-16年度地区RLI

RLI推進委員会委員長です。

私は以前から成田クラブからガバナー候補を推薦するのであれば、会社の規模、本人の誠実さから申しまして諸岡会員と思っておりました。また、佐倉ロータリークラブからも



候補の推薦状が提出されているそうですので、急遽クラブ協議会といたしました。このクラブ協議会におきまして、皆様の承認が得られれば会長石川憲弘、幹事吉田稔と署名いたしまして地区指名委員会に推薦状を提出いたします。

### 《諸岡 靖彦 会員より挨拶》

会員の皆様のご推薦を 有り難くお受けいたします。

当クラブが地区に対して責任を果たしたのは、1997-98年度の平山金吾さんの時でしたから、それから20年近くが経過しようとしています。地区内でCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）をベースに、当クラブの活動に対して評価の高い今、当クラブが役割を果たすべき時であると考えました。

2010-11年度に平山金吾実行委員長のご指導のもとに大震災の余震さめやらない中で、私はクラブ創立50周年という節目の会長職を経験させていただきました。入会時に先輩の方々から洗礼を受けましたCLPと、会長の翌年度に地区研修セミナーで出会ったRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）が 今日の私を導いてくれたように思います。この務めは私一個のものではありません。会員の皆様お一人お一人のご理解、御支持、ご支援が必要です。



また地域の勢いが、力として大切です。

どうかよろしくご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

### ◇ 幹事報告

吉田 稔 幹事

#### 《回覧》

- ・例会変更 多古ロータリークラブ
- ・活動計画書 成田コスモポリタンロータリークラブ

#### 《連絡》

- ・成田コスモポリタンロータリークラブより会員名簿
- ・各種出欠表
- ・昨日会長、幹事会の席で9月25日の地区大会に当クラブから20名の応援依頼がありました。多くの会員にご参加頂きたいと思っております。私の方から直接お願いしますのでよろしく願いいたします。
- ・地区大会のゴルフですが、13名の応募がありましたのでこれで受付を終了いたします。
- ・来週の例会は休みですが、分区ゴルフが開催されます。成田クラブはホストですので大栄カントリー倶楽部に8時集合いただき、受付のお手伝いをお願いしたいと思います。



## 「私の履歴と千葉興業銀行の取組み」

千葉興業銀行成田支店  
支店長 小岩井 学

こんにちは。千葉興業銀行の小岩井です。5月27日に成田ロータリークラブに入会させていただきまして、はや2か月が経過しました。まだまだお役に立てているとは言えず、これからも皆様のご指導を頂戴しながらロータリアンとして成長していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

前任の小柳からロータリークラブでは「卓話」という、会員の皆さんの前で話をする機会があると聞かされておりました、いつ順番が回ってくるかと思っていましたところ、思いもよらず本日こうして皆さまの前でお話をさせていただくことになりました。これだけ多くの方の前で話することに慣れておりませんので大変緊張しております。聞きづらい点もあるかと思いますがご容赦いただき、今日は私の自己紹介を兼ねて「私の履歴と千葉興業銀行」について少しお話をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



改めまして、千葉興業銀行成田支店 支店長の小岩井 学と申します。生まれは昭和43年7月でちょうど先週の土曜日16日が誕生日で48歳になりました。住まいは埼玉県三郷というところです。成田へは1時間半かけて通っています。江戸川を渡れば千葉県ですので、私としては埼玉県民という自覚はなく、高校野球や高校サッカーなどは埼玉県代表より千葉県代表を応援してしまいますので、自分としてはやっぱり千葉県民であると思っています。

出身は東京江東区北砂というところですが、当然ですがまったく記憶がなく覚えていません。よくお客様から東北出身なの？と聞かれます。かの有名な岩手の農場と同じ名前だからだと思いますが、残念ながらまったく関係はありません。

幼少時の記憶は千葉縣市川市に引っ越ししてきてからのことをうっすらと覚えているといったところです。市川市大洲というところに3歳から6歳まで、江戸川のほとりにあった父の会社の社宅に両親、祖母、姉、弟2人と私の7人で住んでいました。市川での思い出といえば父親に連れられ江戸川にかかる鉄橋を渡る総武線の電車をよく見に行ったことです。そのせいか、今でも電車を見るのも乗るのも好きで、電車好きが高じて中学の時は当時の国鉄がやっていた「いい旅チャレンジ2万キロ」なる催しに友達と挑戦し、全路線制覇はできませんでしたが、関東近辺の路線はすべて走破したという思い出があります。チャレンジ2万キロというのは、各路線の始発駅と終着駅で写真を撮ってそれを国鉄に送ると、走破証明書が送られてくるしくみになっていて中学卒業までやっていました。因みに私の息子も鉄道、電車に乗ること、写真を撮ることが大好きで、たまに一緒に電車に乗りに行くこともあるので、血は争えないなあと思うこの頃です。

昭和49年7月に同じ千葉の佐倉に引っ越ししました。佐倉には結婚して独立まで2年間住んでいました。地元小・中学校に通い、中学時代は軟式テニス部に所属しておりました。当時、印旛郡市の大会は成田西中学校と中台運動公園が試合会場でしたので、今から35年前に成田を訪れていたこととなります。成田支店に異動になった後、近くを通っ

たときに本当に懐かしかったです。

高校受験は第一志望の公立高校受験に失敗しまして、仕方なくといひますか、滑り止めに受けた私立高校に入学しました。この高校は当時校則がとても厳しいことで有名な学校で、通学时電車に乗ったら座ってはいけないとか、頭髪は規則どおりかどうか検査があるとか、本当に細かい規則がありました。おかげで高校時代はあまり楽しかった思い出はありません。

高校3年で大学受験をするも全滅、親に頼み込んで浪人させてもらうことにしました。前にも言いましたが私は4人兄弟で、当時大学生の姉を筆頭に高校生、中学生がおり浪人生である私が予備校に行かせてもらえる余裕などありませんでしたので、しかたなく自宅浪人という形になりました。

そんな中でとりあえず来年の受験料くらいは自分で稼がなくてはと思い、高校卒業から6月までは原木にあった東京エアカーゴシティターミナルでアルバイトを始めました。海外から来た航空貨物の仕分け作業から各運送会社への荷物受け渡し業務を担当しました。何日間に1回は夜勤もあり、結構ハードな仕事ではありましたが、その分時給もよく、2か月で約40万円稼ぐことができました。今になって、たった2か月間の経験ではありましたが、お金を稼ぐことの大変さであるとか、任された仕事をやり遂げることの達成感であるとか色々と学ぶことができた貴重な時間であったと思います。

アルバイトをやめて、いざ受験勉強に集中しようとしたのですが、なかなかできませんでした。浪人生活は自由な時間がたくさんありますが、誰も何も言いませんし、教えてもくれませんので、自分で自分自身を厳しく管理できないと非常につらいものになります。実際私も何度もくじけまして、長い浪人生活を送ることになり、親には多大な迷惑をかけました。

20歳でなんとか大学に入学することができました。大学では御多分に漏れず、勉強はほとんどした覚えがありません。勉強したなと思えるのは、1年時の必修科目でのレポート提出時と3年4年時のゼミ、卒業論文ぐらいです。その他はサークル活動と某ドーナツ屋でのアルバイトがほとんどの生活でした。

さて大学4年で就職活動となるわけですが、私は旅行会社か百貨店を希望していましたので、それらの業種の会社を片っ端から受けることにしました。とは言いつつも地元千葉の会社への就職も考えまして、その中で地元のために働くことが出来る金融機関を受けることにしました。

結局第一希望であった旅行会社には内定がもらえず、百貨店についても思ったように進んでいきませんでした。そんな中で思いがけず千葉興業銀行から内定をもらうことができました。就活を続けるかどうか悩みましたが、これも縁だと思い千葉興業銀行に入ることにしました。ちなみに大学の同じサークル内に千葉県出身者が3名いましたが、3名とも同じ千葉興銀にお世話になることになるとは夢にも思いませんでした。

入行は平成5年4月です。同期は男女合わせて200名超。恐らく当行の歴史の中で最も同期の人数が多く入った年であったと思います。その同期も今では60人程度になっておりますが、各部署で主要メンバーとして活躍しています。

私の初任配属店は八千代支店でした。八千代支店では2年9か月の間、出納や預金、テ

ラー、融資といった業務を一通り担当しました。その後船橋駅前、市川の曾谷、八幡、稲毛、江戸川台、柏の各支店を渡り歩き、25年4月に前任店である佐倉支店に支店長として着任しました。佐倉支店では部下に恵まれ、部下の頑張りのお陰で3期連続営業推進目標を達成するなど優秀な成績を収めることができました。そして今年4月に成田支店支店長を仰せつかった次第です。

平成5年の入行以来23年の銀行員生活で一番辛かったことは、やはり平成11年からの当行存亡の危機の頃でしょうか。平成9年から3年間で当行は1000億円を超える赤字を出し、不良債権処理額もそれを上回る金額となりました。平成12年1月に金融監督庁の検査が入るということで、検査で使うラインシートと呼ばれる資料を毎日夜遅くまで上司に言われるがまま作成した記憶が残っています。

当時私は曾谷支店の平行員で、本部から何度も何度もラインシート修正の指示があり本当に大変でした。

後日、出来上がったラインシートをもとに監督庁の検査官と支店長、担当役席が本店で面接するわけですが、その時に私も支店長の後の席に座って支店長へ各種資料を渡す係として同席しました。資産査定ヒアリングと呼ばれる面接では、支店のお取引先1社1社について査定を受けるわけですが、担当検査官は次々に債務者区分をランクダウンさせていきました。支店長も必死に食い下がり説明し現状維持で着地させようとはしますが、どうにもならず、何とも非常に重苦しい雰囲気であったことを今でもよく覚えています。

この金融監督庁検査の結果、当行の自己資本比率は0.45%まで下がり、まさに破綻寸前にまで追い込まれることになりました。最終的に当行は600億円もの公的資金を受け、何とか破綻を免れて首の皮一枚つながりました。

公的資金を受けた当行は再生に向けて進むこととなります。人的には当時の富士銀行からの人材を受け入れ、営業部門、審査部門、事務部門、リスク管理部門などの各セクションへ配置、同時に店舗数も93か店から71か店へ縮小するなどのリストラを実施しました。閉店が決まった支店は、お取引先のお客様1件1件にその旨をお知らせし、閉店日までに母店へ取引を移してもらうよう依頼し、ご了解をいただくのが主な仕事となります。実際に私も市川の曾谷支店で廃店を経験しましたが、お客様に多大なご迷惑をかけるものであり、本当にもう二度とやりたくない仕事です。

再生に向けては非常に厳しい道のりでしたが、平成25年7月に優先株を引き受けて頂くなど、地元お取引先の多大なご支援も受けて公的資金を完済したことで、ひとつの区切りがついたのかなと思っています。

地元のお取引先が支えてくださったということを絶えず忘れることなく、恩返しではないですが、地元にお役に立てる銀行として私も微力ながら一生懸命頑張っていきたいと思っています。

さて、今回当行のミニディスクロージャー誌と「企業ヒアリング・アンケート調査結果について」という資料を持参しました。当行が現在行っている主な取り組みについてお話しをさせていただきたいと思います。

まず「企業ヒアリング・アンケート調査結果について」お話ししたいと思います。「企業ヒアリング・アンケート調査結果について」は、今回金融庁が初めて自ら、銀行と取引のある中小企業へヒアリングあるいはアンケートを実施した結果として、金融庁のHPの中で公表されているものです。

結果を見ますと、企業がメインバンクに求めるもので最も多かった回答は、その企業や事業に対する理解であり、ついで融資のスタンス、長いつきあいで信頼しているからという回答が続いています。逆に融資の金利条件を理由に挙げた企業は少なく、少なからず金融機関との考えのギャップがあるものと言えます。

また、金融機関との信頼関係について、経営上の悩み等をメインバンクに相談したことがあるかという質問には、約3割の企業が全く相談したことがないという回答をしたそうです。

理由として、アドバイスや情報が期待できないとの回答が多かったそうで、私も銀行員として少なからずショックを受ける結果となっています。

また一方では、金融機関による経営支援についての問いでは、約8割が「財務内容の改善」等なんらかの効果があつたと回答しており、金融機関によるコンサルティングが有効であるという結果もでております。

人口減少が叫ばれている中で、これからの金融機関は、特に私ども地方銀行、資金ニーズにお応えすることはもちろんのこと、よりお客様の声に真摯に耳を傾け、お客様の経営課題、真のニーズを適格に把握することで、適切なアドバイス、コンサルティング力を発揮し問題解決のお手伝いをする姿勢がなければ生き残れないと感じています。

当行は、昭和27年3月に「県内中小企業の親切なる相談相手たらんことを期する。」という創業精神のもと誕生した後発の銀行です。以来60年、その精神は企業理念「地域とともに」「お客様のために」「親切の心で」の中でも受け継がれています。

その中で、当行の地域に貢献する銀行としての取組みについてお話して終わりにしたいと思います。

## ● 「地域とともに」

千葉興銀では、地域の中小企業、個人事業主、個人のお客様の資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしていくとの基本的考えのもと、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。中でも「アグリフードビジネス」「医療・介護ビジネス」「事業承継・M&A」「海外進出支援」など成長分野と捉えた重点的な支援を展開しています。

また、地方創生の推進に積極的に関与すべく行内に「地方創生推進会議」を設置し「地方創生」に向けた行内体制の整備を行いました。現在県内19市町村との間で地域発展・活性化支援に関する相互連携協定を締結しています。今後も千葉県の更なる発展に寄与していきます。

地域のみなさまのコンサルティングバンクとして、各種セミナーを開催するなど地域の皆様に役立つ情報を発信してまいります。尚、来る8月5日に成田支店にて支店長講師による資産運用セミナーを開催予定です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

その他、事業承継、M&A等企業の抱える経営課題についても専門の部署を設置しお応えできる体制を整えています。次世代の経営者の育成支援をするちば興銀経営塾は現在6期生が活動しており、もうすぐ7期生の募集が始まりますのでこちらもご興味ありましたら、検討していただければと思います。

●お客さまのために

お客様のニーズにお応えし、ご満足いただける商品、サービスの提供に努めています。  
一例を申し上げますと、全国初として夫婦連帯債務の住宅ローンについて、今までは主たる債務者のみに付保していたがん団信を進化させて、ご夫婦どちらか一方でもがんに罹患した場合住宅ローン残高が0円になる新型がん団信付き住宅ローンの取り扱いを始めております。もし従業員の方等で住宅ローンをお考えの方がおりましたら、お気軽のご相談下さい。

● 親切の心で

その他、社会奉仕活動として、「小さな親切運動」を推進しています。  
小さな親切運動は、昭和38年3月の東京大学卒業式で当時の茅学長が提唱したもので、同年に運動本部が発足し現在は33都道府県本部で組織されており、館員が26万人を数えます。千葉県本部は当行本店内にあり、頭取の青柳が本部長を務めております。  
県内には成田の他、茂原、野田、松戸、船橋、八千代、鎌ヶ谷、市原、東金、旭の各市に支部があり、成田支部は当店がお手伝いをさせて頂いております。今年も去る7月13日に小さな親切実行章贈呈式を開催しました。市内全小学校から幅広くご推薦を受け、記念品を贈呈させて頂いております。

最後に、仕事以外の目標は、ゴルフをうまくなることです。

6月に当行のお取引先の集まりである興友会でゴルフコンペを開催しました。私も支店長として参加しましたが、みごとにブービーメーカーとなってしまいました。  
もっと練習せねばと反省した次第です。少なくとも100台くらいの実力をつけないといけないなと思っていますので、うまくなるコツをご存知の方はぜひ教えてください。

以上、つまらない話にお付き合いいただきありがとうございました。  
これで私の話を終わらせて頂きます。

◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
60	59	36	23	61.02%	79.31%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
堀口 路加 会員	7月23日	第2790地区米山記念奨学委員会 カウンセラー・奨学生・指導教員研修会
石川 憲弘、吉田 稔 各会員	7月27日	印西ロータリークラブ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700  
成田ビューホテル内  
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル  
電話 0476-32-1111  
例会日 金曜日 12:30  
例会出欠連絡先(直通)  
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078